



## “変わり種プレーン”の安藤由隆氏がF3A曲技機を設計

YS F-91ACエンジン搭載  
オリジナル機

# フローラ

●タイトル写真は手前が安藤氏、後方が椎名氏（塗装仕上げ）の機体。

→大きなエアチャンバーが目立つYS F-91AC 4サイクル・エンジンを倒立搭載。フローティング・マウントはMK, プロペラはAPC13×11。

↓冷却性を考慮し、マフラー（ポリカーボネート）は半内装式とした。後端のサブ・マフラーはカーボンで自作、車輪形式は軽量の2車輪タイプだ。



ダクテッド・ファン4基搭載のジャンボや、4機をパイプでつないだ編隊機など、ユニークなモデルを発表している安藤由隆氏（横浜市）。そのいっぽうでスタント機のフライトも楽しんでいるが、肝心の4サイクル90クラスでなかなか良いキットが見つからない。それなら自分で作っちゃえ、というわけで完成したのがこの「フローラ」。もともと自作はお手のものだが、設計に関してはクラブメイトの椎名氏と相談しながら、YS F-91ACエンジンに合わせて全体の大きさや取付角を決定。演技速度の一定化や主翼の振れに影響を与える翼型については、現F3A日本チャンピオンの八田肇氏のアドバイスをもとに最大矢高位置が35%のオリジナルとした。構造的にはバルサを主体にしたオーソドックスな内容で、胴体/主尾翼ともフィルムを使った軽量の仕上がり。初飛行ではテールの振れもなくコンスタント・スピードで飛び、予想以上に満足のいくフライトができたと言う。

→エンジン・カウルは軽量に仕上げのため、このような雄型と雌型をベースにカーボンで製作した。

